

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL.048-650-2611

「正しく怖がる Part 2」 「荒川の氾濫」 そのリスクと避難の考え方」を聴く 「生活に直結する防災避難」とは

一般公開講演会第7回は「正しく怖がるPart 2」として、埼玉大学大学院教授・田中規夫先生から「荒川の氾濫―そのリスクと避難の考え方」というテーマで、私たちに身近な荒川や利根川など、埼玉県南部の大きな河川の氾濫と治水対策の歴史について、興味ある講演があった。また近年の大型台風や集中豪雨に備える対策、適切な避難のあり方などについても実生活に役立つ話があった。

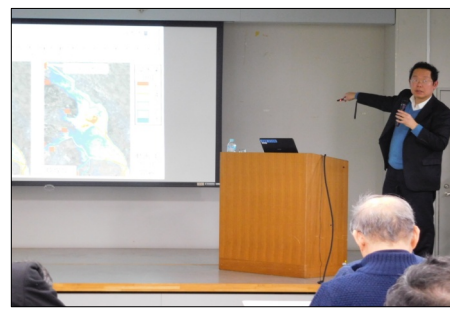
利根川、荒川、入間川、中川など私たちに身近な河川の話がテーマであるためか、受講者の関心も高く、多くの参加者と活発な質疑があった。

まず埼玉県は、川の面積が日本一広い県であることを初めて知った。また、江戸時代以前から氾濫対策や新田開発のため、河川の流れを変える「付け替え」が度々行われた。江戸の町を守るために利根川は東方へ、荒川は西方へ流域が変更されて来た。これにより多くの地域の水害リスクが少なくなった。その間にできた広大な地域では新田開発が進められ、農産物の生産量を高めてきた。しかし、多くの地域の水害リスクが少なくなくなった一方で、洪水の被害を頻繁に受ける地域が新たに生まれた事も見逃せない。

また現在の私たちの生活に直結する河川氾濫と防災避難について、次のような有益な話があった。洪水からの避難という面では、大川より居住地の中小河川の方が先に氾濫して移動経路を阻害する。最近の気候変動の影響による地域的な集中豪雨などの場合は、身近な中小河川（内水河川）の氾濫への備えが重要である。このような情報は地域自治体の防災情報誌や洪水ハザードマップなどにより知ることが出来る。避難ルートや避難のタイミングなど、逃げ遅れゼロのための行動計画などが作成されている。これらを参考にし、自分や家族の避難計画を作っておくことが必要である。避難は昼間と夜間では状況が大きく異なるので、両方の計画が必要である。また計画作成には近隣住民が共同で取り

組み、その計画を共有しておくことが大切である。この際には、逃げ遅れゼロのために、家族や近隣に住む要介護者への配慮を忘れてはならない。

今回の講演では、本県南部を流れる荒川や利根川の古い時代からの治水事業の歴史について、興味ある話と共に、現在、自分たちが住んでいる地域の洪水リスクと、住民避難に関する実情的な情報的事例と入手方法、および避難計画作成の際の



4月からの大風呂敷 埼玉学習センター所長 渋谷治美

CSCに集うサークルの皆さん、埼玉同窓会の皆さん、埼玉学習センターに学ぶ学生の皆さん、新入生の皆さん、4月からの新年度も、大いに活気あふれる活動を企画・実施しましょう。皆さんが知恵を出し合い、一緒に準備し、本番を大いに楽しみ、そして終わったあと省みて、「人間をやっているよかった」「人生は素晴らしい」とお互いに確認する、そういう1年にしませんか。もちろん放送授業、面接授業を通して、地道な学びも深めましょう。

ここで大風呂敷を広げさせていただきますと、願わくば新年度は、①秋の第12回埼玉フェスタに参加者が殺到して、フロアが人であふれる。②OB会有志の皆さまから昨年12月にご寄贈頂いた55インチ大型液晶テレビを活用して、8階第6講義室が常時皆さんの対話の広場となる（近々お披露目を催します）。③公開講演会の新しいシリーズが、学生・市民から広く歓迎され、毎回満席となる（目下新シリーズを考案中。乞うご期待）。④秋に予定されている、埼玉学習センター有志による「海外個人研修ツアー☆ワルシャワとパリ―ショパンとマリー・キュリーの足跡―」が、大成果を得たうえで全員無事帰国する（この企画はいま永澤先生と私が共同企画中です。詳細は近日公表）。⑤皆さまのサークル活動が一回り輪を広げ、新しいサークルも誕生して、学生一人当たりの参加サークルが平均三つとなる（〇）。⑥高い評価を得て修士課程を修了なさった埼玉学習センター所属の学生が複数人、博士課程に進学する（待望!）・・・

皆さまもこうした大風呂敷の実現にお力をお貸し下さいませよう。

4月13日の「代表者会議」で、野呂事務局長と共に再任され、その後1年間を二人三脚で進めて参りました。

埼玉CSC交流会の事業として、①「第11回埼玉フェスタ」を9月9日（土）10日（日）に開催しました。例年に比べ1か月早い開催になりました。学生が交流する場所として、更に親交を深めるような催し物などを野呂

事務局長や事務局のスタッフと早急に検討しました。例年の対応を継続しながら、同窓会鈴木副会長の尽力により「ジャズの演奏の継続」「物産販売も「秩父と陸前高田」の2か所の販売を実施出来るようになりました。「むぎの会」代表者、大橋先生の書道・表書き、田中先生の書道・頂上、大橋先生の書道・学生さんの書道も展示が出来ました。来年もお願

活況を呈しました。新たな試みとして、懇親会の始まる前に開催した「歌声広場」が大好評で、来年も開催の返事を頂いて居る様子です。第11回の記録誌の発行が遅れておりますが、早く発行できるように事務局と打合せを実施します。

②学生新聞の発行は、篠田編集長と冬木副編集長が、学習センターからの学習に関する情報、サークルの情報、学生からの投稿等をもとに、隔月発行して居ります。記念50号も無事に発行する

ことが出来ました。③CSC交流会の収支決算報告及び会計監査報告については、29年度はフェスタの収支報告は監査を受けて居りますが、記録誌が未発行の為公表されて居りません。3月8日（木）の代表者会議にて収支決算報告及び会計監査を実施して、4月12日（木）の役員会で報告し、承認を頂きます。

④埼玉CSCと学生とのパイプ役を徹し、「居場所」作りを努力して参りましたが、思うほどの成果が得られませんでした。お詫び申し上げます。

「運動習慣」
近頃、寒風が吹く1月中旬に差し掛かると、決まって学生時代に痛めた左膝関節炎の鈍い痛みが悩まされる。20歳前後の7ないし8年間、バレーボールの試合や遠征で体のあちこちを痛めてしまったが、その時は「スポーツに怪我は付きものだ」と安易な考えで、支障の都度しっかりフロアアップしなかつた事が、今では悔やまれる。二日15分以上の運動を行うことにより、がん、心疾患および糖尿病などの生活習慣病による死亡率を下げ、寿命を延ばす効果がある」と言われている。私も運動不足を最近になって反省しながら、今年も11月中旬ごろから週に4ないし5回、自宅の周辺をウォーキングしたり、自宅でラジオ体操をすることにしている。ウォーキングは、最低一日2千歩ないし3千歩、少し汗ばむ程度の早歩きを実行していると、なんだか足の運びが軽くなつたように感じる。ウォーキングの理想は、一日8千歩から1万歩程度が望ましいと言われているが、最初からあまり無理をしないで少しずつ時間と歩数を増していけばよいのではないだろうか。要は運動をすることを習慣づけ、その効用を実感できればそれでよいと思う。

自宅周辺の家の花木や黄色に染まる夕焼けを楽しむながら、マイペースで散歩するのが、という軽いやさしいウォーキングをするのが長続きの秘訣なのかもしれない。

近頃は、顔見知りが増えて、互いに挨拶を交わすようになった。「あの人も頑張ってるな」と感じつつウォーキングを楽しんでいる。一考ではないだろうか。

留意事項について、多くのことを知ることができた。大変有益な講演会であった。

（智義）

平成29年度
学位記授与式と
卒業・修了
祝賀パーティー開催
日時 平成30年3月24日
日時 平成30年3月24日

（土）11時〜12時
場所 NHKホール（渋谷区神南2-2-1）

【卒業・修了祝賀パーティー】
日時 平成30年3月24日
（土）13時半〜15時半
場所 ハイアットリージェンシー東京（東京都新宿区西新宿2-7-2）

春の入学者の集い

平成30年度第1学期の入学者の集いは、4月7日（土）14時から、埼玉学習センター8階講義室で開催されます。

当日は、学習上の留意事項、学習センターの利用方法等の説明の後、学習相談や各サークル紹介などが行われます。

平成30年度より図書室での放送教材視聴方法、放送教材の室外貸出方法が変更されます（貸出は放送大学本部からの郵送貸出のみ）。詳しくは放送大学HPをご確認ください。貸出方法の変更準備のため、3月1日〜31日は室外貸出は停止です。

私にとっての《サロンしぶや》
「学びとは、癒やし」
岡野久美

2015年、ネットで放送大学埼玉学習センターの「世界の思想・宗教」とかいう講座を知りました。これが《サロンしぶや》でした。面白そう行ってみようかと電話で申し込みました。「学生さんですか？」と訊かれ、「卒業生です...だいたい昔の」と答えて、図々しくも参加させて頂きました。

講師の渋谷先生はセンター所長というわりには役人らしくなくて、「えーと、あれ、なんだったかなあ。最近忘れっぽくて...」などと言われるのに乗せられて、「〇でーす」とつい言ってしまうのでした。今思うと、生徒へのサービス：演技だと思えるのですが、認められた気がしてうれしくなりました。頭の良い人はたいいてい性格が悪いものなのに、例外もあるんだなあ、これは面白い、また来ようと大宮の学習センターにわたる多彩な内容も魅力でした。初めて触れることも多々あり、世界が広がる心地がいたしました。2016年に全科履修生として再入学。カントの読書会にも入れていただきました。

2017年の《サロンしぶや》は「戦後日本の中編小説の代表作―さまざま人間観と味わい―」でした。渋谷先生は上から目線で一方的に話すのではなく、参加者との対話・交流をと、一人ひとりから話を聴いて下さいます。皆さんも熱く語られます。大いに盛り

がりが、教室はインタラクティブな交流の場になるのです。映画化されたものも多く、映画談議にもなったりします。ちなみに1月の『万延元年のフットボール』は、参加者からの「なぜ大江健三郎をやらぬのですか...」との要請により、取り上げるようになったそうです。

自分は『金閣寺』『野火』『万延元年のフットボール』は大昔に読んだり、映画で観たことがあったので、この機会に読み直しました。改めてものすごい迫力で迫ってくる。嗚呼そうだ、ここ、この言葉、あった、あった。蒼ざめて透明なアドレッシンの、あの切ない感覚が甦って来たりします。最初とは違う感じ方をする自分がいたりで、しみじみ読んでよかったです。胸は昂揚り、前頭葉は活性化されます。すると発信したくなります。《サロンしぶや》ではそれが許され、推奨されております。話すことで心の窓があき、聴いてもらえることで世界と繋がっている気がして、穏やかな満ち足りた気持ちになるのです。

教師でもあり、ファシリテーターでもある渋谷先生のサロンには、学びと癒しがあります。私にとって学びとは、癒しであることに気づかされたのでした。

次回3月16日は『人間失格』です。いまさらこの歳で太宰かよ、などといわずに素直な気持ちで参加しようと思えます。あと1回で終わってしまうのは実に残念なことですが、来年度には新たな企画の《サロンしぶや》シェイクスピアが始まるそうです。

放送教材の取扱変更

平成30年度より図書室での放送教材視聴方法、放送教材の室外貸出方法が変更されます（貸出は放送大学本部からの郵送貸出のみ）。詳しくは放送大学HPをご確認ください。貸出方法の変更準備のため、3月1日〜31日は室外貸出は停止です。

「運動習慣」
近頃、寒風が吹く1月中旬に差し掛かると、決まって学生時代に痛めた左膝関節炎の鈍い痛みが悩まされる。20歳前後の7ないし8年間、バレーボールの試合や遠征で体のあちこちを痛めてしまったが、その時は「スポーツに怪我は付きものだ」と安易な考えで、支障の都度しっかりフロアアップしなかつた事が、今では悔やまれる。二日15分以上の運動を行うことにより、がん、心疾患および糖尿病などの生活習慣病による死亡率を下げ、寿命を延ばす効果がある」と言われている。私も運動不足を最近になって反省しながら、今年も11月中旬ごろから週に4ないし5回、自宅の周辺をウォーキングしたり、自宅でラジオ体操をすることにしている。ウォーキングは、最低一日2千歩ないし3千歩、少し汗ばむ程度の早歩きを実行していると、なんだか足の運びが軽くなつたように感じる。ウォーキングの理想は、一日8千歩から1万歩程度が望ましいと言われているが、最初からあまり無理をしないで少しずつ時間と歩数を増していけばよいのではないだろうか。要は運動をすることを習慣づけ、その効用を実感できればそれでよいと思う。

「運動習慣」
近頃、寒風が吹く1月中旬に差し掛かると、決まって学生時代に痛めた左膝関節炎の鈍い痛みが悩まされる。20歳前後の7ないし8年間、バレーボールの試合や遠征で体のあちこちを痛めてしまったが、その時は「スポーツに怪我は付きものだ」と安易な考えで、支障の都度しっかりフロアアップしなかつた事が、今では悔やまれる。二日15分以上の運動を行うことにより、がん、心疾患および糖尿病などの生活習慣病による死亡率を下げ、寿命を延ばす効果がある」と言われている。私も運動不足を最近になって反省しながら、今年も11月中旬ごろから週に4ないし5回、自宅の周辺をウォーキングしたり、自宅でラジオ体操をすることにしている。ウォーキングは、最低一日2千歩ないし3千歩、少し汗ばむ程度の早歩きを実行していると、なんだか足の運びが軽くなつたように感じる。ウォーキングの理想は、一日8千歩から1万歩程度が望ましいと言われているが、最初からあまり無理をしないで少しずつ時間と歩数を増していけばよいのではないだろうか。要は運動をすることを習慣づけ、その効用を実感できればそれでよいと思う。

の音楽愛好家」というような意味のドイツ語ですが、いつか音楽の都ウィーンで演奏しようという皆さんの意気込みです。

これまでの練習曲目はモーツァルト、バッハ、シューベルトなど西洋古典の宗教曲が中心です。「第九」合唱団以外の方、埼玉SC以外の方も多数参加しています。9月のフェスタでは、演奏会を開くほどのレパートリがないので、公開練習として、モーツァルトの「アヴェ・ヴェルム・コルプス」とバッハの「管弦楽組曲第3番ニ長調からアリア」の演奏をしました。また、11月にはオペラ彩のプロデューサー和田タカ子氏を招いて、プッチーニの「トゥーランドット」の解説をお願いし、12月の本番には、多くの団員の方々と本格的オペラを堪能しました。12月は、プラザノースのホールにて、クリスマス練習会を実施しました。

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンなどという本格的な西洋古典音楽を、素人同然の自分たちで演奏できることがまったく信じられないことです。初心者の方には、ハードルが高そうですが、楽しく練習をかさねることで、音楽の世界を共有できるとおもいます。ぜひ一度見学に来て下さい。

いつか音楽の都ウィーンで演奏を見て練習を続けていきます。



公認サークルに認証されました
『Wiener Wald Musikfreunde』
代表 南雲 功

昨年3月に行われた放送大学南関東7学習センター主催の第九特別演奏会に埼玉学習センターから参加した合唱団を中心に、音楽を続けたいという声が大きくなりました。そこで茂木一衛先生のサロンに集まろうと呼びかけ、楽器を持っている人には持参をお願いしたところ、ヴァイオリン、チェロ、アコーディオンと合唱で20名ほど集まりました。その後も口コミで増え、現在、合唱20人以上の他、ヴァイオリン、チェロ、フルート、リコーダーまたはトランペット、ホルン、アコーディオン、キーボードとまるで小編成のオーケストラ付き合唱団になりました。男性の多くが楽器を担当していますので、男声が少ないのが悩みの種です。

サロンですと、大学が主催することになり、自主練習や演奏会などの自由な音楽活動が困難になることから、サロンのサポートとして4月に「音楽サークル」を立ち上げました。人数が多くなると、会運営や会計を明確にしておかなければならないこと。さらに広く学内への周知、学外での演奏や、学外からの講師や講演などの対外的なことも考慮し、大学の公認サークルとして登録申請し正式に認証されました。現在は、サークルを茂木先生に指導していただく形になっています。

サークル名は、団員の投票により「Wiener Wald Musikfreunde」となりました。「ウィーンの森

銀色の日々
大西 亮

「日光街道を歩く」

面接授業で10月に「埼玉の街道」を、続いて12月に「奥の細道」を受講した。いつの頃からか松尾芭蕉の歩いた「奥の細道」を歩いてみたいと思っていたが、ようやくその気持ちになって埼玉県内の日光街道を歩き終った。草加から栗橋まで37キロメートル、かつては六つの宿場があった。芭蕉は千住から草加にたどり着き粕壁に泊った。次の日は栃木の間々田に泊ったとされているから、かなりな健脚である。「奥の細道」ではわずかに「草加といふ宿にたどり着きにけり」とだけしか記述されていない。今回、芭蕉の歩いた道を全て

歩いたわけではない。東武鉄道の主要駅を基点にして、駅の周辺の街道を3キロから5キロメートルほど、時間にして2、3時間、5回に分けて歩いた。陣屋跡、一里塚、神社仏閣、そして歴史的な建造物を見て歩いた。草加や春日部には資料館があり、歴史の資料が展示されているし、観光にも力を入れており、草加松原や春日部の町並みは立派である。しかし、他の自治体では歴史的な建造物の多くは閉ざされたまま、内を見学することは出来ない。かつてそれぞれの建物は旅館、米屋、酒、菓子、呉服、金物、雑貨等の商売を営んでいたらしいが、昔を偲ぶことは不可能だった。後継者がいないのか、営業そのものが成り立たないのか、時代の変化を感じる。せっかく歴史的な建造物の指定を受けても、持ち



主は維持管理が大変ではないか。杉戸、幸手あたりでは史跡や寺社、建物の保存は十分でない。本陣跡や一里塚も古ぼけた道標があったり、なかつたりである。越谷の久伊豆神社では運よく祭礼の日でくわし、お神楽の奉納を見物できた。また、栗橋の八坂神社では宮司さんにお会いでき立派な神輿を見せてくれ、伝統のある夏祭りについて説明してもらった。現地を訪ねたからこそ収穫である。

幸手の聖福寺に芭蕉の句碑があるというので立ち寄った。寺の中庭で十数人の子供たちがサッカーに興じていた。「芭蕉さんの句碑はどこですか」と尋ねたが、誰も知らない。松尾芭蕉を知っている子も一人か、二人。松尾芭蕉を学校で教わらないはずはないのに。同じ敷地内に幼稚園があったので、先生に訊

「熟年会」紹介
代表 富田尚隆

熟年会の活動は、①勉強会、②パソコンクラブ、③イベント、④映画鑑賞の4つです。①の勉強会は他に比べ、その具体像が分かりにくいようです。これをまず説明します。

「勉強会」は毎月第2火曜日の13時半から2時間半、講演と質疑応答をじっくりやるのが特徴です。熟年会は2001年の創立で、この3月に第18回総会を迎えます。18年間に194回の勉強会を実施しました。その講師とテーマはすべて記録されています。

記念すべき第1回の講師は五十嵐靖男さん。テーマはなんと「生ずじこの作り方」です。第2回は柳原啓介さんの「IT革命」。第6回には、今も現役会員の武藤達雄さんの「埼玉の地酒」。いいですよ。第7回は、これも現役会員の今福佐喜男さんが「源氏物語(上)」。やはり現役役員で監査の大竹紀夫さんは第15回に「N響定期公演会から」。現役女性会員の岡里順子さんは第19回に「柳家小さんを語る」。実に多彩です。ぜひ聞いてみたいと思っものばかりです。でも残念ながら、中味は熟年会のロッカーには残っていません。

最近はどうでしょうか。直近の10か月分を見てみましょう。

①新垣重夫「数学嫌いのための数学談義」、②武藤達雄「いきがい大学・健康づくり科に学んで」、③島村隆男「島村隆男案内人の6月22日川越散策事前講座」、④大野隆司「改めて刑法・刑事訴訟法を読む」、⑤佐藤敦子「認知症について」、⑥佐藤伊一「中根千枝著『タテ社会の人間関係』

から『電子立国日本の凋落』を考える」、⑦河野正子「南アフリカの旅―目指すはVictoria Falls」、⑧「連句を楽しむ」、⑨「大津博伸「わくわくコインランドリー」」、⑩「ライオンズクラブ」などいろいろあります。連句などもあつて、結構、いいかなと思われませんか。担当はなるべくたくさんの方にお願いしたいです。近頃の町をみながら散策します。特徴は選りすぐりのガイドさんが付くことです。いいガイドさんが付くと、例えば「川越」の町が一変して突然光り輝きます。毎月、ないし隔月くらいのペースです。

④番目の活動は「映画鑑賞」です。毎月第4木曜前後に実施します。昨年は、4月「ムーミンライトのアトリエ」、6月「ハクソー・リッジ」、8月「ベイビー・ドライバー」、9月「ダンケルク」、10月「ドリーム」、11月「泥棒役者」と、7本の映画を新都心のMOVIX Xさいたま等で鑑賞しました。今年は新作ではなく、古い名画のDVDを学校で鑑賞する計画です。とびきり素敵な映画と出会えるはずですよ。ご期待ください。

期待しています。午後からは今までのおり講義形式で、ワード、エクセル、パワーポイント、ネット、音楽、動画等々全部やります。毎月、第1と第3火曜です。

③番目の活動は「イベント」と称しますが、安・近・短の小旅行です。近くの町をみながら散策します。特徴は選りすぐりのガイドさんが付くことです。いいガイドさんが付くと、例えば「川越」の町が一変して突然光り輝きます。毎月、ないし隔月くらいのペースです。

④番目の活動は「映画鑑賞」です。毎月第4木曜前後に実施します。昨年は、4月「ムーミンライトのアトリエ」、6月「ハクソー・リッジ」、8月「ベイビー・ドライバー」、9月「ダンケルク」、10月「ドリーム」、11月「泥棒役者」と、7本の映画を新都心のMOVIX Xさいたま等で鑑賞しました。今年は新作ではなく、古い名画のDVDを学校で鑑賞する計画です。とびきり素敵な映画と出会えるはずですよ。ご期待ください。

3月の公開講演会
【正しく怖がるPart2】 第5回
「原子力発電の光と影―再生可能なエネルギーへの転換の未来―」
講師 永澤 明
(埼玉大学名誉教授・放送大学埼玉学習センター客員教授)

★3月18日(日)
「人生100歳時代どう生きる―保健室活動から考える―」
講師 服部満生子
(みんなの保健室陽だまりin草加代表/特定非

3月のサロン
★3月16日(金)
「戦後編小説の代表作―さまざまな人間観と味わい―」
講師 渋谷治美
(埼玉学習センター所長)

★3月17日(土)
「秩父の獅子舞」
講師 飯塚 好
(熊谷市文化財保護審議会委員)

★3月4日(日)
「秩父の獅子舞」
講師 飯塚 好
(熊谷市文化財保護審議会委員)

★3月22日(木) 13時
「年次総会埼玉学習SC今年度活動の経過報告と会計報告及び来年度役員体制、来年度活動計画、来年度予算審議」
朗読の会「ハルソ」
★活動日 3月9日、16日、23日、30日(いずれも金曜日) 4月は未定だが、金曜日中心の予定

健康体操研究会
★活動日 3月6日、13日、20日、27日、4月3日、10日、17日、24日

江戸時代の古文書を読む会
★定例勉強会 3月10日、17日(いずれも土曜日) 14時〜16時/第4講義室

健康体操研究会
★活動日 3月6日、13日、20日、27日、4月3日、10日、17日、24日

サークル案内
サークル
おおみや
★3月22日(木) 13時
「年次総会埼玉学習SC今年度活動の経過報告と会計報告及び来年度役員体制、来年度活動計画、来年度予算審議」

ウィーンの森
★練習日 2月28日(茂木先生) 10時〜器楽練習 13時半〜全体練習 3月14日、28日も練習

熟年会
★3月13日 総会
★パソコンクラブ 第1、第3火曜/午前は自習/午後は講義
★勉強会 毎月第2火曜
★3月29日 お花見
★映画鑑賞 毎月第3木曜、あるいは第4木曜

平成30年度第1学期の学生募集します
平成30年度4月入学生を募集しています。出願の受付は第1回が2月28日(水)、第2回が3月20日(火)までです。皆さんの周りの放送大に興味・関心のある方を、是非「紹介ください」を紹介された方が入学(再入学者を除く)した場合、薄謝を進呈いたします。

俳句(つみ草)
家風や天燈上げたる小正月
金箔の干菓子たまはる初句会
雪間草もの綻ぶ端緒かな
浦風に雲のひらける雪間草
特養に歌と手拍子水温む
日矢さして一つ生るる雪間草
野球子に午後の日ざしや雪間草
声ひとつ花待つ鳥や雪間草
天心の赤銅の月寒鴉
母方の笹の縫紋春小袖
《見学歓迎 第2木曜日 午後1時より》

明美 由美 順 厚子 八重子 安代 功 光娥 十詩 とく江